

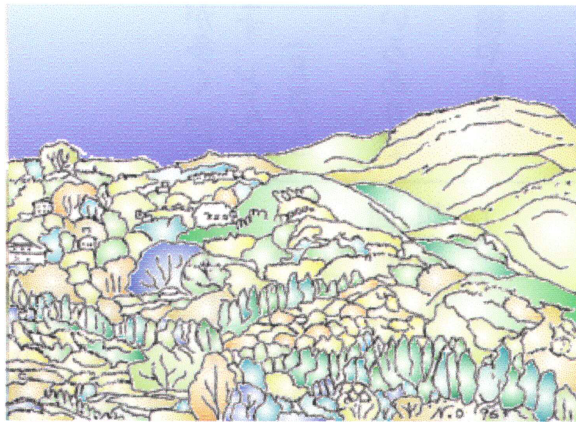
けんこうニュース

発行所

奥津医院

南足柄市生駒 381
電話 0465-74-0024
発行人 奥津紀一

全国に広がる
0-157



今年の夏は大腸菌0-157が大活躍だった。その特徴、病原性対策など連日、テレビ、新聞をにぎわせている。最終的には、今年一月〜八月の間で九千六百三十四人感染し、二百四十人が入院、十一人死亡したことになる。全国的に広がりましたが、決定的な対策のないことなど社会不安をかき立てています。何かマスコミにかきまわされている感じがします。もっと危機感を持って対処しなければならぬ問題がたくさんあるのに、隠されているのではないのでしょうか。

わかりやすい医学講話
「医療の人間性」
慈恵医大内科教授
橋本信也先生

インフォームド
コンセントを中心



十月二十六日(土)午後二時〜三時三十分、山北町中央公民館に於いて、第十四回を迎えた、足柄上医師会主催のわかりやすい医学講話が開催されます。「インフォームドコンセント」という言葉は、普通「説明と同意」と訳されています。医療を進める上で、医療者側が患者さんに内容を良く理解していただき、その同意のもとに検査や治療をすることが必要とされています。しかし、医療側では、忙しいことを理由に、患者さん側は、遠慮があったり、充分に行われているとは言えない現状です。より良い方向へ進むにはどうしたら良いのか、お話をさせていただく予定です。

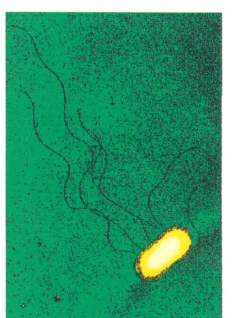
南足柄市
夜間診療所の開設を計画
問題点多い

南足柄市は、かねてより計画中の保健福祉センター内に夜間診療所の開設を目指していましたが、この度医師会側に正式に提案して来ました。年間を通して、七時から十一時(予定)小児科、内科を中心とした、急患外来を行うというものです。莫大な費用(七千万円〜一億円?)を要すること、現在の休日診療所との関係もあり、近隣自治体との協議が必要とされる点がありますが、ほとんどなされていません。医師会としては、

奥津医院
インターネットの
ホームページ開設へ

この七月より、ようやくインターネットに参加することができるようになりました。0-157に関する情報などは早く、確実なものを手に入れることができました。厚生省、文部省、総理大臣、大学、医療機関が、どう対応しているかよく解ります。まだまだ情報量は充分ではありませんが、これからの情報社会

湧言飛語



日本の感染症対策
院長

日本の感染症に関する対策は明治三十年に定められた。伝染病予防法を根底にしています。コレラ、赤痢、チフスなどの急性伝染病の流行に備えたものです。

法律ができた当時は警察の管轄だったので、国家強権的で、患者の人権などは全く考慮されていませんでした。

このことはエイズ対策の時に問題となりましたが、結局は、抜本的法改正は行われませんでした。これがまた、0-157の問題で表面化して来ました。

基本的な人権に注意を払いながら、感染症対策をする技術はすでにありますが、行政や政治家は、法律や規則を作ることによって面倒なことを避けようとしているのです。

